

支えあいとともに笑顔で暮らすまち「にいがた」

## さわやか通信

北区社協だより



飛鳥井 俊晴 副会長

五十嵐 隆吉 会長

栗原 睦夫 総務広報部長

## つながる未来へ 葛塚東コミュニティ協議会のこれからを語る ～地域福祉活動計画策定 × 支え合いのしくみづくり～

### Q1 コロナ後の地域の変化と、つながりの再構築についてどう感じていますか。

**栗原** コロナ禍で子ども会行事や美化活動の参加が減り、行事を再開しても人が集まりにくくなりました。だからこそ、納涼会や祭りなど、**世代を超えて顔を合わせられる場を継続することが、つながりの再構築につながる**と感じています。

**五十嵐** 学校やクラブ活動も止まり、「コミ協活動は終わった」と思うほどの時期がありました。今は少しずつ人が戻っています。災害時の助け合いは日頃の関係づくりが基盤になるので、**まずは顔の見える関係を取り戻すことが最優先**だと考えています。

### Q2 「顔の見える関係づくり」を、これからどのように続けていきたいですか。

**栗原** 祭りやソフトボール部の除草作業後の懇親会など、**自然に人が集まり、話せる場**が関係づくりのきっかけになっています。こうした場をこれからも増やしていきたいです。

**飛鳥井** 行事を通じて「おめさん元気だったかね」と声を掛け合える関係が生まれます。参加の積み重ねが担い手育成にもつながるので、**まずは地域に出てきてもらう機会をつくり続けることが大事**だと思っています。

### Q3 子どもの減少や担い手不足の課題に、どう向き合いますか。

**飛鳥井** 三世代同居が減り、アパート世帯が増えたことで、地域との接点が薄れています。行事に参加すれば気持ちが豊かになり、人間関係の潤滑剤にもなるので、**参加したくなる行事づくりを続けることが課題解決の第一歩**だと考えています。ただ、役員の引き継ぎが難しく、来てくれた人だけでまかなう現状には悩みもあります。

**五十嵐** 少子化と高齢化がさらに進む6年後を見据えると、向こう**三軒両隣の精神を取り戻すことが不可欠**です。学校も含めた地域総がかりの体制をつくり、支え合いの基盤を強めていく必要があります。

### Q4 次期の地域福祉活動計画の期間が6年ですが、葛塚東地区が6年後どのような地域になってほしいですか。

**栗原** 若い人も高齢の方も、一人暮らしの方も行事に参加してほしい。**助け合いの輪に自然と入れる地域**になってほしいです。

**飛鳥井** 声を掛けたら積極的に参加してくれる地域にしたいです。参加すれば達成感があり、気持ちも豊かになります。「**参加してよかった**」と思える**地域行事**を続けたいです。

**五十嵐** 小さな参加が、地域の大きな力になります。**みんなで助け合える地域であり続けてほしい**と思っています。

|    |                                                               |
|----|---------------------------------------------------------------|
| P1 | つながる未来へ<br>葛塚東コミュニティ協議会のこれからを語る<br>～地域福祉活動計画策定 × 支え合いのしくみづくり～ |
|----|---------------------------------------------------------------|

|        |                                                                                                                                                                       |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| P2, P3 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市社会福祉協議会会員会費</li> <li>・地域ふれあい助成事業</li> <li>・福祉教育 とともに生きる力</li> <li>・認知症カフェ</li> <li>・賛助会員紹介</li> <li>・地域の茶の間とくし丸</li> </ul> |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|    |                                                                                                                                                  |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| P4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長リレートーク</li> <li>・北区ボランティア・市民活動センター活動報告、きっかけづくり講座</li> <li>・北区社会福祉協議会介護事業所</li> <li>・寄附のお礼</li> </ul> |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 新潟市社会福祉協議会会員会費

## あなたの会費が、地域の活動を動かしています

北区では、みなさまからの会員会費を、子どもから高齢者まで、誰もが安心して過ごせる地域づくりに活用しています。

たとえば、**交流の場づくり、見守り活動、居場所づくり、地域イベントの開催支援**など、身近な地域の取り組みを支える大切な財源になっています。

「誰かのために」と寄せていただいたお気持ちは、**めぐりめぐって“自分の住むまち”を良くする力**になっています。

今年度も、地域のつながりを育てる活動に大切にに使わせていただきます。趣旨をご理解のうえ、引き続きご協力をお願いいたします。

## 会費の目安

一般会費（1世帯）：500 円

自治会・町内会を通してご協力をお願いしています。

## 賛助会費

・団体：1口2,000 円

・企業：1口5,000 円

・福祉施設・福祉団体：2,000 円

地域ふれあい  
助成事業

## みなさまの会費・募金が地域のつながりを支えています



いちごクラブ 早通児童センター

社会福祉協議会会員会費と赤い羽根共同募金の配分金を財源として実施している「地域ふれあい事業」。この助成金は、自治会・町内会や子育て支援団体などの活動に活用されています。

助成をきっかけに、「参加者同士が顔見知りになった」「地域で気軽に相談できる関係が生まれた」「あいさつを交わせる関係が増えた」など、多くのつながりが生まれています。地域での居場所の取り組みを始めるきっかけづくりを目的とした助成もありますので、詳しくはご相談ください。

「助成の手引き」、「令和7年度事業報告・決算」、「令和8年度事業計画・予算」について、北区社会福祉協議会ホームページ（ダウンロード）に掲載しておりますので、どうぞご覧ください。



## 賛助会員のご紹介

地域福祉の推進にご協力いただいている賛助会員の取り組みを、社協だよりを通して地域にお伝えしていきます。

## 植木食品工業株式会社

## 食を通じて地域を支える、創業79年の確かな技

昭和22年創業。米を主原料とした食品製造を行う老舗企業で、笹団子の粉や切り餅、落雁の原料などを製造し、問屋への卸売を中心に事業を展開しています。

地域とのつながりとしては、「老人憩いの家阿賀浜荘」の駐車場として土日に地域へ開放するなど、日頃から地域に寄り添った取り組みを続けています。また、SDGsの観点から、賞味期限が近い製品を社会福祉協議会へ寄附してくださるなど、食品ロス削減にも積極的に取り組まれています。

賛助会員として10年以上支援を続けてくださっている理由について伺うと、「社会貢献として当たり前のごことをしているだけです」と穏やかに語られました。賛助会員会費だけでなく、毎年赤い羽根共同募金にも協力されており、地域の福祉を支える姿勢が企業文化として根づいていることが伝わってきました。



## アイビス技建株式会社

## インフラを支える誇りが、世代をつなぐ

産業廃棄物の運搬・処理・リサイクルを中心に、地域のインフラ維持や環境整備を担う企業です。産業資源循環事業、一般廃棄物処理事業、建物総合管理事業、上下水道管理事業など、多岐にわたる事業を通じて、新潟市民の暮らしを支えています。

地域活動にも積極的に、建設業協会を通じた福島島のクリーン作戦への参加や、青年会議所・ライオンズクラブのネットワークを活かした地域貢献にも取り組んでいます。「地域で経済活動を行い、地域の方を採用し、その生活を守ることも大切な地域貢献」と語る姿が印象的でした。

さらに同社の大きな魅力は、理念を理解し、誇りをもって働く従業員の存在です。

決して目立つ仕事ばかりではなく、時に厳しい現場もありますが、地域の暮らしを支える重要な仕事に真摯に向き合ってきた歴史があります。その背中を見て育ち、親子2代・3代にわたり働く従業員が多いことは、同社が長年にわたり築いてきた信頼の証でもあります。

「親が誇りをもって働く姿を見て、自分もこの世界に入った」という世代が多い企業は、地域でも貴重な存在です。

北区社協とは、災害ボランティアセンターの運営などを通じて長く協働してきました。「目に見えないけれど、絶対になくてはならない存在」と社協を評価していただき、10年以上にわたり賛助会員として支援を続けてくださっています。



アイビス、ibis、とは“とき”のことです。

## 福祉教育 ともに生きる力

ひとりひとりの「**ふ**だんの**く**らしの**あ**わせ」をめざして、福祉教育を通じて誰もがしあわせにくらせるまちになるように、福祉を自分ごとにするきっかけづくりのお手伝いをしています。

学校だけではなく、自治会・町内会、企業等へも伺っていますので、お気軽にご相談ください。



木崎小学校  
4年生テーマ

## やさしい木崎のまちづくり

新潟市ろうあ協会の方々からの手話講話。こどもたちには、相手の立場を考えて、おもいやりの心をもって生活することや、もし困っている人がいたら自分にはどんなことができるのかなどを考えてもらいました。



## こんなメニューがあります

- ・高齢者福祉・障がい者福祉・児童福祉
- ・地域福祉
- ・認知症サポーター養成講座（認知症への理解）
- ・防災講座
- ・地域の支え合いのしくみづくり
- ・ボランティア

作業療法士による認知症カフェ  
らく～なカフェ

らく～なカフェは、認知症の人やそのご家族、地域の方々がお茶やコーヒーを飲みながら気軽に交流し、悩みごとなどの情報交換を行うことができます。

また、新潟医療福祉大学教員の作業療法士や学生とお話しすることもできます。ぜひお気軽にお問い合わせください。



## 【開催予定】

- ・8月28日（金） 認知症サポーター養成講座  
会場：ラグーナスクエア（旧中常楼）  
新潟市北区葛塚3222  
時間：14：00～15：30

- ・11月26日（木） 内容・会場未定
- ・2月26日（金） 内容・会場未定

申し込み・問い合わせ先

北区社会福祉協議会 TEL：025-386-2778

## 地域の茶の間 とくし丸

## ～茶の間と移動スーパーの連携で広がる地域の輪～

地域の茶の間「十二さくら会」では、移動スーパー「とくし丸」が定期的に訪れ、地域のみなさまの買い物を支援しています。

十二さくら会担当の倉島さんは、「免許を返納して買い物に困っている方や、家族に頼って買い物をする方の助けになればと思います」と話します。地域のみなさまにも案内することで、利用の輪が広がると感じました。」と話します。7月で利用開始から1

周年を迎え、今ではすっかり地域に定着し、多くの方が訪問日を楽しみにしているそうです。

移動スーパーは、買い物の利便性向上だけでなく、地域の交流の場としても親しまれています。今後さらに多くの方々に利用が広がることが期待されます。

買い物等にお困りの方がおられましたら、北区社会福祉協議会へご相談ください。



利用者からも  
喜びの声が  
寄せられています。

今日は  
茶の間の日。  
お昼に食べるちらし  
寿司をかうのを楽し  
みに来ました！

広い店内を歩き  
回る必要がなく、商品  
がコンパクトに並んで  
いるので選び  
やすいです！

番段は確かに  
買い物を頼んでいま  
すが、月に1回の茶の  
間の日には、ここで買  
い物をするのを楽し  
みにしています！

## 自治会長 リレートーク

新緑自治会長

「見える自治会で、もっと身近に  
— 見えるから、関わりやすい。  
そんな自治会を目指して —」



南 要一さん  
(自治会長12年目)

### 新緑自治会の概要

250世帯 18班で構成

#### Q 南会長の住んでいる地域について教えてください。

A 新緑に住んで、もう60年近くになります。もとは松浜にいたのですが、新潟地震で家が傾いてしまい、今の場所に引っ越してきました。当時は家もまばらで、とても静かなところでした。

今では、この高台の環境がすっかり気に入っています。神谷内のほうへ散歩に行くと、飯豊山が見える場所があって、朝早い時間だと日の出も見られるんです。あの景色は本当に素晴らしいですよ。

#### Q 自治会長として普段どんなことをしていますか。

A 自治会の定例会議をはじめ、年3回の下水掃除や公園の草取り、夏祭りなどの行事があります。

それに加えて、ゴミステーションのトラブル対応や冬の除雪のこと、地域の方からのちょっとした相談ごとなど、日々の細かいこともいろいろありますね。

#### Q 地域活動のなかで大事にしていることはありますか。

A 少しでも自治会に関心を持ってもらえたらと思って、役員会の議事録は必ず作って各班に回覧しています。

また、自治会費がどう使われているか知っていただくために、総会の議案書も毎年全戸に配布しています。内容を見てもらって、総会への出欠や委任状の判断材料にしてほしいんです。

それから、将来の担い手を育てる意味でも、夏祭りなどでは若い方にお手伝いをお願いしながら進めています。

#### Q 自治会長をやったよかったと思えることはありますか。

A う〜ん…ないような気もしますが（笑）。  
でも、いろいろな方とお会いする機会が増えて、つながりが広がっていくのは嬉しいですね。隣の陽光自治会さんとは、秋の日帰りバス旅行やサツマイモの栽培・収穫祭など、共同の取り組みも始まって、とても楽しく交流しています。

#### Q 自治会長をやる前の不安と、実際やってみてどうでしたか。

A 民生委員をしていたので不安はあまりなかったのですが、実際に自治会長になってみると、やっぱり大変だなと感じました。自治会のこと以外にも、行政や社協からの依頼が思ったより多くて…。この役割が少し軽くないと、時間に余裕のある人でないと難しいところもあると思います。

#### Q 最後に、これから自治会長を担われる方へのメッセージをお願いします。

A 自分たちの住む町を、自分たちの手でより良くしていく。そのために、ぜひ若い方に参加してもらえたら嬉しいです。

### 北区ボランティア・市民活動センター

## キラリ発見! 北区で輝くボランティア

地域には、たくさんの素敵な出会いやつながりがあります。  
北区ボランティア・市民活動センターでは、ボランティアをしたい方と受け入れたい方をつなぐお手伝いをしています。

今回は、地域で活躍するボランティア団体をご紹介します。



パディスク協会



抱っこ de ダンスの輪

#### ■ パディスク協会

2023年に新潟市北区で誕生したニュースポーツ「パディスク」。ラケットがアルファベットの「P」に似ていることから名付けられました。狙った場所へディスクを飛ばせたときの爽快感が魅力で、年齢を問わず楽しめるスポーツとして地域で親しまれています。

#### ■ 抱っこdeダンスの輪

お母さんたちの心と身体のリフレッシュや仲間づくり、親子の絆を深める場として活動しています。音楽に合わせて親子で楽しくふれあいがら、温かな交流の輪を広げています。9月21日（月・祝）の「にいがた総おどり」には約20組の親子で出演予定です。今年で活動10周年の節目を迎え、さらなる活躍が期待されます。

## ボランティア きっかけづくり講座

思い出のつまったおもちゃをもう一度!  
おもちゃの修理・匠の入口へようこそ!

#### ■ おもちゃドクター養成講座

日 時: 10月14日(水) 13:30~15:30

会 場: 新潟市北区東栄町1-1-35

豊栄さわやか老人福祉センター 2階 保健指導室

講 師: 大澤 博雄 おもちゃドクター

定 員: 先着15名

参加費: 無料

内 容: ベテランドクターから、おもちゃの仕組みや直し方のコツを伝授。簡単なおもちゃの電気回路の作成を通じて修理技術を学ぶ実践的講座

申し込み・問い合わせ先: 北区社会福祉協議会 TEL 025-386-2778



## 北区介護支援センター

当センターでは、ケアマネジャー4名が、介護保険利用のご相談から、介護申請の手続きやご本人及びご家族の生活の意向を尊重しながら、ケアプランを作成し在宅生活の支援をさせていただきます。

### 要介護、要支援の申請の相談・手続き

介護保険利用のご相談及び申請手続きを支援いたします。（申請時は、介護保険被保険証が必要です。）

### ご契約・ケアプランの作成

ご本人・ご家族の生活の意向を尊重しながら、ケアプランを提案し、より良いサービスの提供をチームで行います。

地域のみなさまの介護のお困りごとなどに相談、対応させていただきます。

【問い合わせ先】北区介護支援センター

☎ 025-386-2889

## デイサービスセンター さわやか

「つまずきやすくなったから運動したいけど、ひとりでは続けられない」「同世代の方と交流したい」「一人でお風呂に入ることが不安になってきた」そんな風に感じたことはありませんか?

デイサービスセンターさわやかでは、自分らしい生活を続けていけるように、お一人お一人に合わせた支援を行っています。

どんな所か気になる方は、ぜひお問い合わせください。見学も可能です。

ボランティア活動をしてみたいという方も、お気軽にご相談ください。



音楽鑑賞



園芸

【問い合わせ先】デイサービスセンターさわやか

☎ 025-384-7511

## 北区訪問介護センター

### ホームヘルパー大募集

利用者様に寄り添って「その人らしさ」を再現し、自立のお手伝いをするお仕事です。ありがたい言葉がたくさん聞けるお仕事です。週1回からでもOK! 自分の生活スタイルに合わせて一緒に働いてみませんか。

「空いている時間活かしませんか?」  
「ユニフォームやエプロン貸与」

賃金: 時給1,140円+介護職員処遇改善金

待遇: 有給休暇、時間手当、待機補償、

交通費等、支給基準による

年齢: 69歳以下

資格: 介護福祉士、  
介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）

【問い合わせ先】北区訪問介護センター

☎ 025-384-6699

### 善意のご寄附ありがとうございました

北区内の地域福祉活動等に大切にに使わせていただきます。

令和8年2月~令和8年5月 (敬称略)

かやま保育園きりん組保護者一同 ……185円

匿名2件 ……869円

### お詫び

さわやか通信第48号の2ページ「北区社会福祉協議会会員費のご報告」の賛助会員のみなさまの一覧において、企業名の表記に誤りがありました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正させていただきます。

誤) 阿賀工業 正) 阿賀興業



社会福祉 新潟市社会福祉協議会

北区社会福祉協議会

〒950-3323 新潟市北区東栄町1丁目1番14号(北区役所1階)

TEL 025-386-2778 FAX 025-388-2914

E-mail kita@syakyo-niigatacity.or.jp

ホームページ

